

### 【3月号特集「モーションコントロール，計測・センサ応用全般」予告】

モーションコントロールの先進応用に関する協同研究委員会委員長 柴田昌明（成蹊大学）

モーションコントロール，計測・センサ応用に関連する技術は，計測制御システム，メカトロニクス分野において極めて重要な要素であり，それらの技術動向を明確にすることは産・官・学にとって大変意義深いものがあります。モーションコントロールの先進応用に関する協同研究委員会と高度センサ応用による人間中心システムの協同研究委員会では，毎年3月に産業計測制御研究会を合同共催し，モーションコントロール，計測・センサ応用の最新かつ実用性の高い技術について議論を行っています。本研究会は年を重ねるごとに規模が大きくなり，昨年3月の産業計測制御研究会（平成21年3月9日～10日，成蹊大学にて開催）では，発表件数132件という過去最大規模になり，質の高い発表とともに活発な議論が行われました。このような背景のもと，モーションコントロール，計測・センサ応用全般に関する論文をできる限り集約して読者の目に触れやすくすると同時に，本研究会で発表された研究成果とそこで交わされた有意義な議論を広く共有するために，平成22年3月号で「モーションコントロール，計測・センサ応用全般特集号」を企画致しました。

本特集号では，平成21年3月の産業計測制御研究会での口頭発表をベースに，研究会における質疑やコメント等の討議を踏まえて投稿され査読を経た論文を特集論文としてまとめて掲載致します。なお，本特集号の企画は，今後も継続することにしておりますので，産業計測制御研究会でのご発表と，発表された内容を論文化することを是非ご検討頂き，奮ってご投稿くださいますようお願い申し上げます。

### 編集後記

一年のうちで最も寒さの厳しい時節ですが，皆様寒さにも新型インフル

にも負けず，研究や業務に励まれていることと存じます。さて，今月号には平成22年部門表彰受賞者候補者の推薦依頼，および8月に開催される産業応用部門大会の案内を掲載しています。部門大会に併せて子ども体験理科教室も開かれます。皆様奮ってご応募およびご参加ください。

学界情報では，ポルトガルで開催されたIECON2009について，青山学院大学の名取先生より紹介いただいています。非常に幅広い分野に亘り活発な議論がなされた様子が伝わってきます。

技術開発レポートは，三菱電機の藤原氏から太陽光発電用パワーコンディショナについて寄稿いただきました。

研究グループ紹介では，マイクロ水力発電システムや，

高速スイッチングに伴うEMI，ハイブリッド自動車用モータなどに関する研究をなさっている，北海道大学大学院の小笠原先生の研究室について紹介いただきました。

こうして学会の様子，技術開発レポート，研究グループ紹介と続けて見てみると，エネルギー関連の開発が大きなテーマとなり，また着実に成果が上がっていることを改めて感じます。

まだまだ寒いとはいえ暦の上では春，小鳥の鳴声もちょっとうれしそうに感じられる頃です。新しい産業応用技術を原動力とし，低迷している経済も立春を迎えられれば，と思っております。

最後になりましたが，ご多忙中にもかかわらず記事をご執筆いただいた皆様，ならびに編集作業に携わっていただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

エディタ 永井 孝佳（三菱電機）

※ 本文中のE-mailアドレスをご利用になる場合には，“(at)”を“@”に置き換えてください。